

第60回全国高体連研究大会（愛知県大会）が盛大に行われました。

皆様、ご協力ありがとうございました！

※来年度（R8）は、大分県開催となります。



令和7年度
第60回全国高等学校体育連盟
研究大会 愛知県大会



【大会主題】 「常識をアップデート！」
～ 部活動の新たな視点を探る ～

期　　日　　令和8年1月15日（木）・16日（金）
会　　場　　岡谷鋼機名古屋公会堂
主　　催　　公益財団法人全国高等学校体育連盟
共　　催　　読売新聞社
後　　援　　スポーツ庁・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会
　　　　　　愛知県公立高等学校長会・愛知県私学協会
　　　　　　公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部
主　　管　　公益財団法人全国高等学校体育連盟研究部・愛知県高等学校体育連盟

【日 程】

| 時間 月日 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|--------------|----|--------------------|---------------|---------|----|----|-----|----|----|
| 1月14日 (水) | | | | | | ① | ② | | |
| 1月15日 (木) | 受付 | 開会式 | 全体会 (課題研究) | アトラクション | 昼食 | | 分科会 | | |
| 1月16日 (金) | 受付 | 全体会 分科会報告 講義 | 全体会 (講演) | 閉会式 | | | | | |

①発表者・助言者・司会者打合せ会議

②公益財団法人全国高等学校体育連盟研究部全体委員会

開会式

令和8年1月15日(木)10:00～



開会のことば



(公財) 全国高等学校体育連盟研究部
副部長 山室俊浩

あいさつ



(公財) 全国高等学校体育連盟
副会長 田島正徳

祝 辞



愛知県教育委員会
教育長 川原馨

歓迎のことば



愛知県高等学校体育連盟
会長 山脇正成

課題研究：パネルディスカッション

令和8年1月15日(木)10:30～



【パネリスト】

名古屋大学大学院教育発達科研究科 教授 内田 良氏
早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 中澤 篤史氏
読売新聞東京本社編集局運動部 編集委員 田中富士雄氏

【司会】

(公財)全国高等学校体育連盟研究部
活性化委員会 委員長 宮川 明



アトラクション

令和8年1月15日(木)12:00~

愛知県立旭丘高等学校 ダンス部 & トーチ部



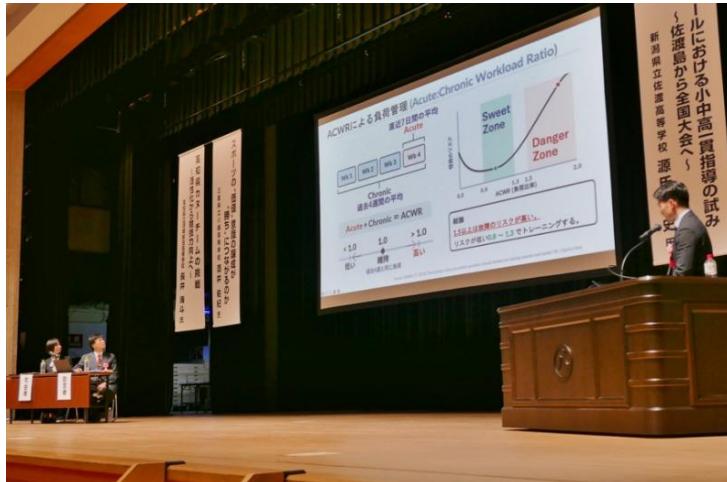
愛知工業大学名電高等学校 チアリーディング部



分科会

令和8年1月15日(木)13:30~

【第1分科会】「競技力の向上」(大ホール)



【第2分科会】「健康と安全」(第7集会室)



【第3分科会】「部活動の活性化」(4階ホール)



「分科会」発表者一覧

| 分科会テーマ | 県名 | テ　ー　マ | 発表者 | 所　属　校 |
|--------------------|----|---|--|---|
| 第1分科会 （競技力の向上） | 岩手 | ACWRを用いたトレーニング負荷計画の作成とピーキングに関する考察 | おいかわ ゆうき 及川 雄輝 | なんじょう 岩手県立南南昌みらい高等学校 |
| | 新潟 | バレーボールにおける小中高一貫指導の試み ～佐渡島から全国大会へ～ | げんじ 源氏 あつし 篤史 | さど 新潟県立佐渡高等学校 |
| | 三重 | スポーツの“価値”意識の醸成が“勝ち”につながるのか | さかい 酒井 ゆき 佑紀 | かわごえ 三重県立川越高等学校 |
| | 高知 | 高知県力ヌーチームの挑戦 ～活性化から競技力向上へ～ | ながい 長井 かいと 海斗 | すさきそうごう 高知県立須崎総合高等学校 |
| 第2分科会 （健康と安全） | 広島 | 運動部活動における障害の予防 ～生徒が自ら主体的に心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために～ | たなか 田中 しゅんすけ 春助 いわた 岩田 ゆうじ 侑士 | おのみち 尾道高等学校 そごうぎじゅつ 広島県立総合技術高等学校 |
| | 静岡 | 「顧問は辛い！？」今こそ考える部活動運営のwell-being ～昭和、平成、令和における顧問の意識変化と今後の部活動のあり方～ | きむら 木村 たけのり 剛典 | はままつこなん 静岡県立浜松湖南高等学校 |
| | 香川 | 香川県高校生の部活動所属別に見た実態調査 | うえだ 上田 まさと 将人 | かがわとうぶしえん 香川県立香川東部支援学校 |
| | 山梨 | スピードスケート競技における安全対策について ～ルール作りから考える～ | ちば 千葉 りょうたろう 瞭太郎 | ふじほくりょう 山梨県立富士北稜高等学校 |
| 第3分科会 （部活動の活性化） | 群馬 | 部活動の未来を探る ～水球の先進的ハイブリッドモデル【クラ部】の取組～ | しが 志賀 さとし 諭 | まえしばしょうぎょう 群馬県立前橋商業高等学校 |
| | 山口 | 生徒の主体的な組織的活動が部の活性化につながる ～活性化にともなう新たな視点～ | にしお 西尾 やすし 泰 | 山口県教育庁学校安全・体育課 |
| | 秋田 | 陸上競技 長距離種目の記録会を盛り上げ ランナーの活性につなげる ～長距離種目のイベントが競技人口と競技力に影響があるか～ | こだま 児玉 ひろゆき 弘幸 | おおだてほうめい 秋田県立大館鳳鳴高等学校 |
| | 愛知 | 地域連携が拓く部活動の未来図 | わかこ 若子 ゆうだい 雄大 | あぐい 愛知県立阿久比高等学校 |



ようこそ
わしらの故郷
愛知へ！

全体会

令和8年1月16日(木)9:30~

各分科会報告



【第1分科会】「競技力の向上」：静岡県高等学校体育連盟 理事長 片山直恵

【第2分科会】「健康と安全」：三重県高等学校体育連盟 理事長 宮本真輝

【第3分科会】「部活動の活性化」：岐阜県高等学校体育連盟 理事長 三浦昇太郎

全体講義



スポーツ庁地域スポーツ課 課長 鈴木文孝 氏

講 演

令和8年1月16日(金)10:30~



名城大学教授・女子駅伝部監督
米田勝朗氏



表 彰

令和8年1月16日(木)12:10~



優秀研究発表受賞者

【第1分科会】



三重県高体連
三重県立川越高等学校
酒井佑紀

【第2分科会】



静岡県高体連
静岡県立浜松湖南高等学校
木村剛典

【第3分科会】



愛知県高体連
愛知県立阿久比高等学校
若子雄大

閉会式

あいさつ



次期開催地あいさつ



開催県あいさつ



閉会のことば



令和7年度 第60回全国高等学校体育連盟研究大会
大会主題 「常識をアップデート！～部活動の新たな視点を探る～」



会場スナップ

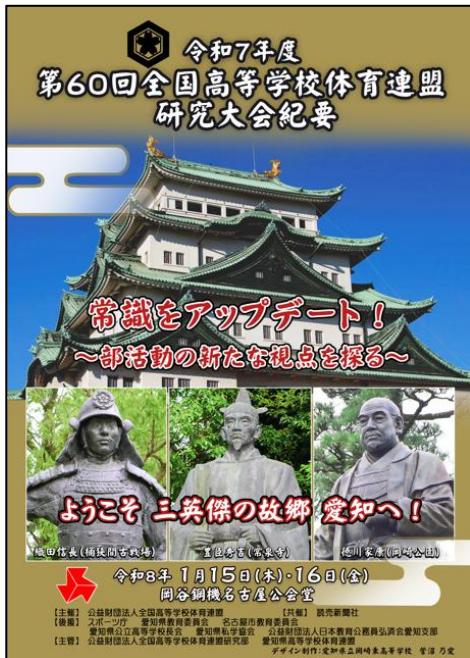




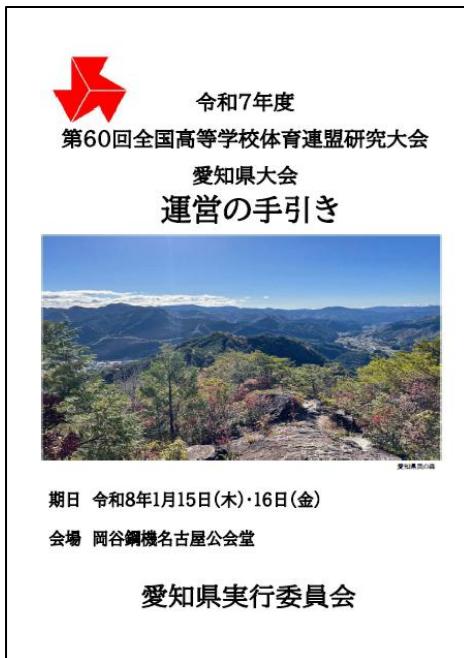
愛知県実行委員会・運営委員 集合写真



刊行物



【研究大会紀要】



【運営の手引き】



【研究大会報告書】

作成物



【第 60 回大会記念クリアファイル】



【第 60 回大会記念顔出しパネル】



【第 60 回大会記念ハンドタオル】



【第 60 回大会記念スタッフポケットチーフ】

新聞記事

2026年1月16日(金) 読売新聞

高校部活 最先端の指導模索

部活動の課題について講じる内田教授
(16日、名古屋市昭和区で)



全国から高校スポーツの指導者が集まって研究成果を発表する「第60回全国高校体育連盟研究大会」(読売新聞社共催)が15日、名古屋市昭和区の岡谷鋼機名古屋公会堂で開幕した。部活動の顧問ら約600人が参加し、16まで研究発表や講演が行われる。

研究大会は、指導者の能力向上を目的に毎年開催されている。今年の主題は「部活をアップデート」(部活動の新たな視点を探る)。開会式で県高体連の山崎正成会長は「急速な社会の変化に対して自らをアップデートし続け、部活

名古屋で大会顧問ら研究発表動を通じて高校生の成長を支えていきたい」という願いを込めた。最先端の指導法を模索する実りある機会になることを期待する」と述べた。

午後は「競技力の向上」「健康と安全」「部活動の活性化」の3テーマに分かれた分科会があり、各指導者らが研究成果を発表した。16日は名城大学女子駅伝部監督の米田勝朗教授によるアスリート育成論の講演などが行われる。

学の内田良教授らが「外から見た部活動の現状とこれまで」と題してパネルディスカッションを行った。内田教授は、通学する学校によって部活動の質が大きく異なる「部活ガチャガチャ」があると問題提起した。中学生が校区を越えて活動ができる神戸市など为例に、不平等の解消や続可能な部活動を構築するため、「地域の現状に応じたギリギリの答えを探っていく」ことが必要」と訴えた。

2026年1月17日(土) 読売新聞

名城大駅伝部 育成論語る

アスリートの指導法について講演する
米田監督(16日、名古屋市昭和区で)



名古屋市昭和区の岡谷鋼機名古屋公会堂で開催された「第60回全国高校体育連盟研究大会」(読売新聞社共催)で16日、名城大学教授で女子駅伝部の米田勝朗監督がアスリート育成論をテーマに講演した。大会では優秀研究表彰なども行われ、2日間の日程を終えた。

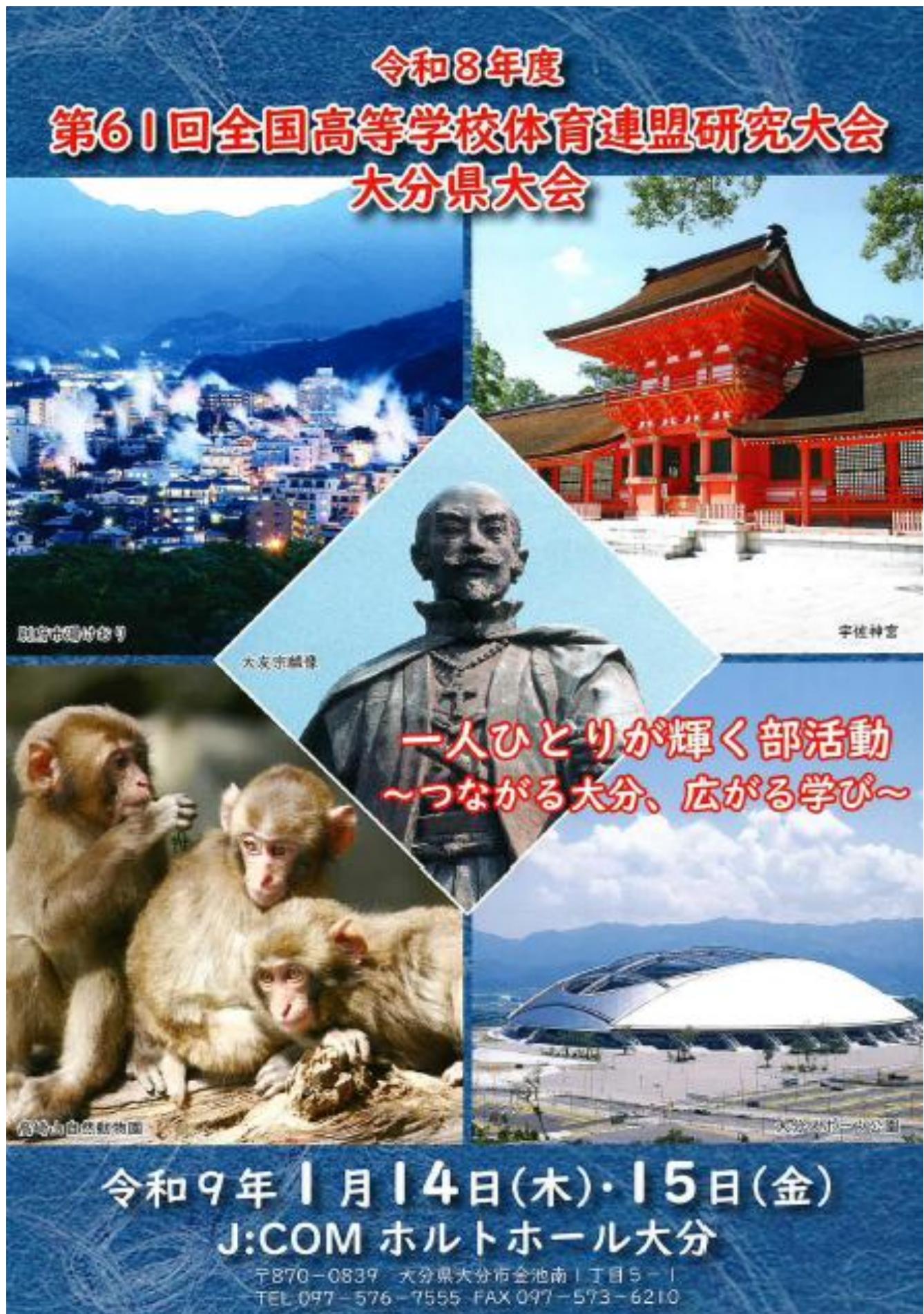
米田監督は「学生たちに自分で考えて行動させる力、本質を見抜く力を養うのが大切」と教訓を伝えた。「選手の体も気持ちも全く考えなかつた」と反省した米田監督は、過度に口出しがせず、選手の自主性を尊重する指導に切り替えた。順位は一時的に落ちたが、徐々に部員の習慣が変化し、2度目の優勝につながった。

米田監督は「学生たちに自分で考えて行動させる力、本質を見抜く力を養うのが大切」と教訓を伝えた。

米田監督は1995年に女子駅伝部を創部。全日本大学女子駅伝対校選手権で2005年に初優勝し、17年からは7連覇を達成した。創部当時は女子の長距離ランナーがおらず、部員もわずか2人だったが、15年以内に優勝する目標を掲げた。

初優勝までは、食事制限

令和8年度は、大分県高体連が担当します。



第61回 全国高等学校体育連盟研究大会

趣旨 公益財団法人全国高等学校体育連盟に加盟する各高等学校体育・スポーツ指導者の資質向上を図るため、日頃の研究成果を発表するとともに、当面する諸問題について情報交換し、高等学校教育の一環としての体育・スポーツの振興・発展に資する。

期日 令和9年1月14日(木)・15日(金)

会場 J:COM ホルトホール大分

〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5-1
TEL 097-576-7555 FAX 097-573-6210

参加者 各都道府県高等学校体育連盟加盟校の体育・スポーツ指導者及び高等学校の部活動に興味関心を持つ指導者、研究者および学生

大会主題 「一人ひとりが輝く部活動」～つながる大分、広がる学び～

内容

- (1) 課題研究
- (2) 分科会 第1分科会 「競技力の向上」
第2分科会 「健康と安全」
第3分科会 「部活動の活性化」
- (3) 講演 演題 山羽 教文 氏
(株式会社STEM Sports Laboratory 代表取締役社長)
演題(仮)「生徒の主体的な部活動の実現と、先生の校務軽減の両立」
～部活動における非認知能力の向上の検証～

日程

| 時刻 月日 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|--------------|---|----|--------------------|---------------|-----|----|-----|----|----|
| 1月13日 (水) | | | | | | ① | ② | | |
| 1月14日 (木) | | 受付 | 開会式 | 全体会 (課題研究) | 昼食 | | 分科会 | | |
| 1月15日 (金) | | 受付 | 全体会 分科会報告 講評 | 全体会 (講演) | 閉会式 | | | | |

①発表者・助言者・司会者打合せ会議 ②公益財団法人全国高等学校体育連盟研究部全体委員会

表彰 分科会の中で優秀な研究発表について表彰する。

主催 公益財団法人全国高等学校体育連盟

共催 滋賀新聞社

後援 スポーツ庁 大分県教育委員会 大分市教育委員会 大分県高等学校長協会

協賛 大分県私学中学高等学校長会 公益財団法人日本教育公務員弘済会大分支部

主管 公益財団法人全国高等学校体育連盟研究部、大分県高等学校体育連盟